

これから やりたい 25の Challenge! -チャレンジ-

- | | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 01 コロナ
ワクチン接種早期完了をめざす。コロナ禍に負けず積極的な対策実行に努める。 | 02 基本
市民に役立つ実行。1人ひとりに寄り添い、必要な対策を探求して実現を図る。 | 03 未来創造
多久市を未来創造実証都市と位置付け、多彩にチャレンジする。 | 04 SDGs
国際目標SDGsの実践。持続可能で「誰も取り残さない」社会実現をめざす。 | 05 デジタル
society5.0時代にふさわしい行政と暮らしをつくる。 |
| 06 健幸
1人ひとりの健康で幸福なくらしの実現をサポートする。 | 07 医療
地域医療確保のために新たな公立病院を整備する。 | 08 がん対策
がんになっても怖くない地域社会づくり。 | 09 福祉
コロナ禍の苦難を克服できるような福祉の充実。 | 10 子育て
安心して子育てができて笑顔広がる環境の整備(公園遊具なども)。 |
| 11 学び
生涯学習と交流を生み出す図書館サービス充実と整備を図る。 | 12 地域
地域の生活・文化・交流・防災拠点となる北多久公民館の整備。 | 13 農業
地域力向上による、もろかる農業育成を支援、デジタル時代の農業経営改善を図る。 | 14 畜産
新たに整備される畜産公社の拠点センターを核として畜産振興を図る。 | 15 経済
市内の企業・事業所の業績向上を支援し、経済とくらしを向上。 |
| 16 シェアリング
シェアリングエコノミー活用で地域活性化を図る。 | 17 テレワーク
ニューノーマル時代の企業活動を前提に誘致や起業を支援する。 | 18 雇用
新規企業チャレンジを支援し、新たな雇用機会創出を開拓する。 | 19 復旧復興
激甚災害からの復旧復興をさらに加速する。 | 20 安心
国に働きかけて牛津川強靱化整備などにより安全安心の基盤を強化する。 |
| 21 教育
21世紀型スキル、恕の心、自己肯定感を育み、未来に活躍する人材育成。 | 22 若者
学生や若者の視点を活かし、新発想で新たな活性化を生み出す。 | 23 女性
女性・母親の感性を活かした施策を展開し、女性活躍時代を充実。 | 24 定住
多様な工夫で定住促進策を充実して人口定着を図る。 | 25 聖廟
美観を整え、未来につなぐ。耐震と美装を施し、創建当時の美しさを再現。 |

横尾俊彦 Profile

昭和31年(1956年)5月5日生まれ。

多久市立緑が丘小学校・北部中学校、佐賀県立小城高校、慶應義塾大学卒業。在学中カナダのヴィクトリア大学に公費留学。松下政経塾1期生。これまで内閣府地方分権改革推進委員会委員、佐賀県市長会長、全国市長会副会長等を歴任。現在、佐賀県後期高齢者医療広域連合長、公益財団法人孔子の里理事長、全国ICT教育首長協議会会長等を務める。

趣味 読書、音楽、バスケットボール、映画、史跡寺社仏閣巡りなど

音楽 「I LOVE」(Official髭男dism)、「ホール・ニュー・ワールド」(映画アラジンのテーマ)、「サボテンの花」「マイウェイ」の替え歌、クラシックなど

好きな言葉 「天命を信じ人事を尽くす」「凡事徹底」「義を見てせざるは勇なきなり」



就任式

9月17日(金)、7期目の就任式で横尾市長は「今日から全く新しい気持ちで力を尽くします。助けを必要とする人に寄り添い、市民のみなさんの心に響くような市政をめざして、職員みんなで取り組んでいく所存です」と、決意を込めて挨拶しました。



当選証書付与式

9月6日(月)の当選証書付与式なかほらひろあきでは、市選挙管理委員会の中原博秋委員長が「これまでの経験を生かし、多久市のさらなる発展のため尽力されることを期待しています。7期目も市民目線で舵取りをお願いします」と激励し、当選証書が手渡されました。